

各 位

会 社 名 株式会社アルファクス・フード・システム  
代 表 者 名 代表取締役社長 田 村 隆 盛  
(コード番号：3814 東証 J A S D A Q)  
電 話 番 号 0 3 - 5 6 4 9 - 2 1 0 0  
U R L <http://www.afs.co.jp/>

**「飲食店経営管理システム(R)」拡張機能「自動発注システム」の特許を出願**

外食チェーン向け基幹業務システム・サービスで国内トップシェアの、株式会社アルファクス・フード・システム(本社 山口県山陽小野田市 代表取締役社長 田村 隆盛 以下 A F S という)は、このたび、「飲食店経営管理システム(R)」拡張機能の「自動発注システム」(以下 「自動発注」という)に関して、特許庁に特許出願いたしました。

「自動発注」は、各飲食店において手作業が前提となっている食材発注を自動化するシステムです。

飲食店では、仕入れた食材を調理し、メニューとして販売するため、仮に P O S システムを導入してメニューの売れ筋が把握できていても、発注は食材単位で実施する必要があることから、現在も食材の発注は手作業であり、I T 投資の対象にすらなっておらず、閉店後の店舗担当者の大きな作業負担となっています。毎日正確に発注するには、毎晩食材棚卸を実施した上で、複数のメニューに使用する食材などを考慮した神経質な計算作業が必要となります。

一方、「自動発注」では、あらかじめ提供するメニューに使用される食材の量(メニューレシピ)を登録し変更していくことで、P O S システム等から集計されるメニューの出数から当日の在庫等も考慮し、自動的に食材あるいは備品の正確な補充を実現しております。

補充する方法等は食材毎に数十種類用意されており、各業種業態、法人・店長の考え方に合わせられます。

「自動発注」は、25年前にリリースし、大変画期的で実用性抜群のシステムでしたが、当時の P C のハードディスク容量不足等の関係から、惜しまれながらも提供を停止していたシステムです。

今年3月より、更に機能を拡張し、インターネット基幹業務サービスと融合させた「自動発注システム」の再提供を開始したことから、その高度な I T 技術、運用技術の保護を目的にこのたびの特許出願となりました。

現在の外食業界は、店舗の人材難が深刻化しており、「自動発注」への期待が大きいものと考えております。

■この件に関するお問い合わせは

株式会社アルファクス・フード・システム

マーケティング営業戦略部 TEL : 03-5649-2100